

## 総評

国語は易しく、数学と理科は難しめでしたが、全体としては標準的な難易度の出題となりました。前回11月の道コンと比べると、裁量問題はほぼ同等の難易度で、標準問題は10点近く易しかったようです。

今回のテストで、基本問題の取りこぼしがあったり、中1/中2の学習内容があいまいだった箇所がある人は、これを得点力アップのチャンスととらえて、しっかり復習して確実なものにしてください。

実際の入試では、予想していたよりも難しかったり、予想と異なる出題に戸惑う場面もあると思います。そのような場面では、他の多くの受験生も同じように感じているはずで、問題の全体像を頭に入れ、あわてずに考えること。つまずいた問題に固執しないことも大切です。45分という時間を有効に使いましょう。

## 国語

標準はやや易しめ、裁量は易しめの出題でした。

㉑(標準)は漢字の書き「貯蔵」と問四の敬語の得点率が低くなりました。中学校だけでなく、小学校で習った漢字も復習しておきましょう。敬語についても確認しておきましょう。㉒(裁量)の2つの長い記述はよくできています。漢字の読み「躍起」は「やくき」「ようき」と書いたものが散見されました。㉓の古文は主語や助詞が省略されているので、口語訳と対比させながら、もう一度読んでみましょう。

答案を書いたあとにチェックすべきポイントは、①誤字脱字がないか、②空欄の前や後との接続の不備がないか、③指定語句、指定形式、一文指定などの条件に沿って解答しているか、です。惜しいミスをしないように充分注意して、入試に臨んでください。

## 数学

裁量問題・標準問題のそれぞれに得点率の低い問題があり、得点が伸びませんでした。標準校の受験生は、まずは配点の多い①・②の基本問題を確実にマスターしましょう。②の問4は、立式の誤りが散見されました。「積(かけ算の答え)」「差(ひき算の答え)」などの用語に注意して、文章をしっかりと読みましょう。⑤の証明、1つの弧に対する円周角への着目はよくできていましたが、平行線の錯角が利用できていない人が多かったようです。与えられた条件はすべて使うというつもりで、問題文を漏らさず読みましょう。

⑥の裁量問題はいずれも難しめでした。苦手意識を持たずに、解ける問題を探しましょう。難易度順に並んでいるとは限りません。つまずいた場合は次へ進み、最後まで問題を見てから考えるようにしましょう。

## 社会

やや難しい出題でした。

公民分野では、①問6(1)の問題が難しかったようです。消費者契約法を製造物責任法と誤って答える答案が目立ちました。それぞれの法律の名前と内容を関連づけて、正しく覚えるようにしましょう。③問5の問題は、自衛隊を警察予備隊と誤って答える答案が目立ちました。語句だけではなく、年代も必ず覚えるようにしてください。

歴史分野では、②問3(1)で「大輪田泊をつくった」と答える答案が目立ちました。大輪田泊は平清盛によって整備されたものです。記述問題に答えるときは、注意して答えるようにしてください。また、②問4の並べかえは、難しい出題となりました。鎌倉～室町時代は苦手とする受験生も多いので、必ず確認してください。

## 理科

やや難～難の出題でした。

①は基本的な内容の出題です。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習しましょう。②問1(3)の質量パーセント濃度の計算、問2(2)のとり出した結晶はできなかった人が多かったようです。溶解度や飽和水溶液についてももう一度確認してください。③問1や問2(1)は、実験の文章を正しく読み取る必要があったためか、得点率は低くなりました。④は、問2の露点を求める問題が難しかったようです。考え方がわからなかった人はしっかりと復習しましょう。⑤は、計算が多く出題されていたこともあり、全体に難しくなりました。実験内容はやや複雑ですが、結果を正確に読み取り、しっかりと順を追って考えることができれば正解するのは難しくなかったはずです。

## 英語

標準問題、裁量問題とも、難しめの出題となりました。

標準問題では、②小問集合は比較的よく得点できていました。問3(3)のJuneは1年生で学習した単語ですので、間違えた人はしっかりと書けるようにしておきましょう。また、③や④の記述形式の問題では得点率が10%を下回る問いが見られました。今後は入試に向けて、比較的簡単な問題で確実に得点し、難しい問題でできるだけ得点して差をつけることが重要です。

裁量問題では、⑤Aで得点率が10%以下になった問いがありました。最も難度が高かったのは、⑤A問3の文整序の問題でした。ア～オのそれぞれの文の前後にある時を表す表現を見つけ、それを時系列順に並べかえられるかがポイントでした。本文と見比べながら、確認してみてください。